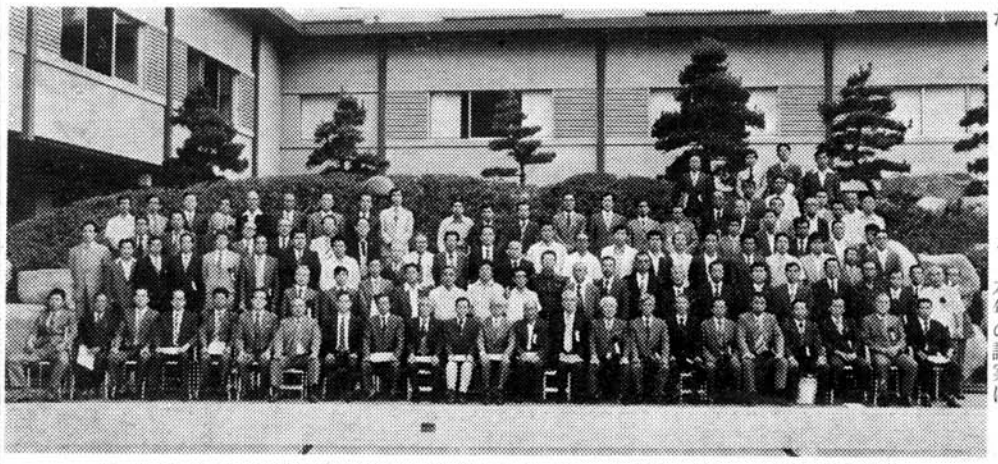
『業種認定』へ固い決議

全国ダクト工業団体連合会第2回通常総会



7月9日下呂温泉で連合会定時総会・全員そろって記念撮影

会議は午後二時半、地元名古屋ダクト協組の野口氏の開会宣言によって開幕。坂東会長から別記の熱気溢れる挨拶が行われ、議長団の選出に入った。司会者一任で、議長には平児礼一氏（名古屋ダクト工業協組）副議長には岡崎秀夫氏（九州ダクト工業会）を選出し両氏によって議事に入りました。

本年の議案は

①昨年度の活動報告承認
②昨年度の収支決算書承認
③本年度の活動計画案承認
④本年度の会費値上げ及び収支予算案承認
⑤各種決議文採択
⑥マーク及び略称名の制定

等が審議され、概ね役員会の原案通り可決されました。

この内本年度の主な事業計画を特記しますと次の通りであります。

㈠建設業法に「ダクト工事業」の認定を実現させる。
㈡職業訓習法に「ダクト工」の技能検定を加えさせる。
㈢値崩れ、過当競争を防止して、適正受注を確保。
㈣組織の強化整備、教情活動の充実。
㈤標準仕様書の作成。
㈥団体の法人化の研究。
㈦近傍類似団体との連携。

その他。

続いて協議に移り、四委員会（総務、業種認定、技能検定および組織）からの活動報告や本年の方針の発表が各委員長から順次詳細に行われ、質疑や要望が多数相次ぎ、午後五時、須藤荘吉氏（名古屋ダクト工業協組）の閉会挨拶をもって無事第一部を終了、休憩に入りました。

懇親宴は野口氏の司会で大広間に会場を移し、浴衣に打ちくつろいで、しばし日頃の苦悩も忘れて歓談、清遊に心ゆくまで夏の温泉情緒に浸って新しい鋭気を養った次第です。

組織強化に全力期す

実践スローガンなど採択

全国ダクト工業団体連合会の第二回通常総会は、去る七月九日、岐阜県下呂温泉水明館で開催、代議員、特別参加者、報道関係者等一二〇名近い総勢の出席をもって盛大に挙行、すべての議案を滞りなく可決、さらに恒例の特別決議を採択し、一層の団結を確認して第三年目に駒を進めました。当組合からは五名の代議員（坂東、浜田、菅本、今井、安西）のほか畑中理事が特別参加しましたので、そのあらましをここにご報告します。

52年度実践スローガン

〈決議〉

われわれダクト工事業者は企業体質の革新を通じて技術の改良、地位の向上を図り、新時代における空調産業の発展に貢献するため次のスローガンを定め、これを実践する。

1、建設業法に「ダクト工事業」の認定を早期実現させる運動
2、職業訓練法に基づく技能検定に「ダクト工事業者」を追加させる運動
3、資材の価格と供給の安定、適正化を徹底促進する
4、教育と情報活動の拡充を図り「ダクト工事業者」の地位改善を確保する

以上決議する。

昭和52年7月9日
第2回通常総会
全国ダクト工業団体連合会

総会決議

1）ダクト工事業の業種認定に関する要望決議

昭和52年7月9日
全国ダクト工業団体連合会

本会は、かねて建設事業者の専門化、地位の安定化のため「ダクト工事」の業種認定を希望してきましたが、建設業法第2条第1項の条項には、まだ独立した工事業としての認定がなく、「管工事」や「板金工事」或いは「機械器具設置工事」等に所属適用されており、誠に遺憾に存ずる次第であります。

新時代の我が国設備工事業の発展の基盤ともなる「ダクト工事業」を、社会的、経済的に、情勢緊迫の度を加えつつある現状から早期に業種認定を戴きたく、第2回通常総会の決議を以て要望申し上げます。

2）技能検定に関する要望決議

昭和52年7月9日
全国ダクト工業団体連合会

本会は、昨年中央職業訓練審議会が行った第2次計画の答申に基き、すべての技能労働者が検定を受けられる体制づくりと、技能士が適正な処遇を受ける主旨のもと、職業訓練法の技能検定に「ダクト工」を追加承認戴きたく、第2回通常総会の決議を以て要望申し上げます。

肝胆相照らして

坂東会長のあいさつ（要旨）

創立三年目にして、一応の基盤固めができましてともどもに喜び合いたいと存じます。

本年も初年度に樹てた四大目標に重点を置いて邁進するのみです。一層のご協力を切望します。それにしても厳しい経済環境で、工事量だけは心持ち増勢の兆しですが、何んと申しましても採算性は一向に改善の見通しがなく極限状況にあることです。

この危機の解決こそ、実は連合会に課せられた緊急の使命なりとうけとめ、役員一同も真剣に対処いたしております。

私どもは、規模的にまた業種面でも見込みの大量生産によってコストの低減など期待できぬ立場でありまして、それは、すべて受注の際の値下げ攻勢を如何にかわして、適正、有利な契約で請負うかにかかっていると申して言い過ぎではありません。このことは誰にも解る自明のことなのですが、しかし、これの実行は、個々の企業や個別の団体のみの力では困難なことも周知の通りです。となると当面、究極のところは連合会の旗の下に一致結束して打開、克服の道を講ずる以外にはないように思われます。すなわち、隣接団体と親睦を深め、情報を交し不当な競争を慎しみ、節度ある協調を図る等々につきると信じます。

せっかく地方が固まっているところへ、中央の都市から値を崩して侵攻するなどの愚は、かりそめにも行ってはならぬことで、このような排他、利己的行動がいつまでも続けば、ついには連合会そのものの破壊にもつながり、それは長い目で見て全員の不幸、不利をもたらすことを忘れてはなりません。

どうぞ今こそ私達は肝胆相照らして、トコトン話し合おうではありませんか。また、タテ、ヨコの連携をもっと親密に深め合いたいものであります。

厳しく苦しい時こそ、足を引張り合うのでなく、助け合い、バラバラにならずに団結して、知恵と力を寄せ合いたいものです。このことが真に達成できるならば明るい将来も必ず期待できる筈ですから。

風と共に

発行所
関西ダクト工業協同組合
大阪市北区神山町79番地（山名ビル）
電話（312）0466・5508番

主な記事

1面　全国ダクト工業団体連合会定時総会報告。総会決議など。
2面　「事業主退職掛金」のすすめ。中小企業組合の歴史。原価確保の受注を。大阪の史跡めぐり。簡単にできる健康法。
3面　委員会だより（総務金融委員会）。情報ダイジェスト。
4面

関西ダクト工業協同組合・組合員

≪50音順≫

板脇工業㈱
栄和工業㈱
㈱小川鈑金工作所
大島工業㈱
関西設備工業㈱
岸田鈑金工作所
共和設備工業㈱
㈲神戸ダクト工業所
三輝工業㈱
サンコー工業㈱
三和製作所
信和温調㈱
新光設備工業㈱
㈱杉本工作所
㈲西濃工業所
大都工業㈱
㈱桃陽鈑金
東伸工業㈱
内外熱学工業所
㈲畑中鈑金工作所
花松設備工業㈱
橋本ダクト工作所
平本鈑金工業所
㈱双葉製作所
㈱牧鈑金工作所
マツダ工機㈱
㈱三好板金工作所
㈲森本鈑金工業所
ヤブサ工業㈱
淀川空調㈱
吉川ダクト㈱

そなえある老後

「事業主退職掛金」のすすめ

皆さんの掛金が、まるまる所得控除されて大きな節税になりながら、将来有利な財産作りができたらどんなによいだろう、もしそんなウマイ制度が世の中にあったら誰しも飛びつく筈とお考えでしょう。

ところが私達が今まで知らなかっただけで、実はそのような退職掛金が十二年前に国営によって出来ていたのです。

難しく申すと「国営小規模企業共済」と呼ばれるものです。

以下簡単にあらましを説明しますと

①中小企業の役員（取締役、監査役）さんや個人の事業主が加入の特権があります。

②毎月の掛金が全額所得控除となり節税

一例をあげると年収五〇〇万の方で三六万円掛けると減税額は一二万を超える

③将来受け取る共済金は退職所得扱いなので税金は僅か

④運営は政府出資の共済事業団が責任を持つので安全確実

⑤掛金の範囲内で勿論簡便に借り入れも可能

⑥保険ではありませんから健康診断もなく、手続きは署名捺印でOKです。

老後の安心と財産作りに備えて、ぜひこの特権をご利用なされるようおすすめします。

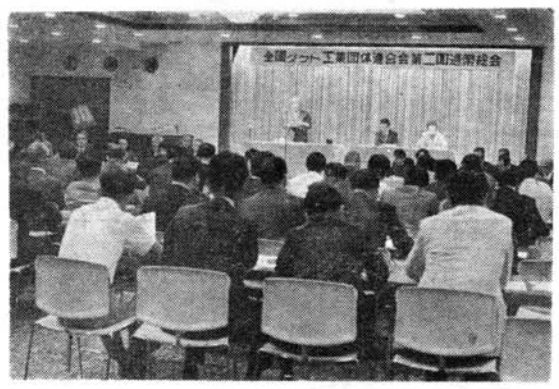
当組合は今般商工中金のご推薦によって、難しいと言われている委託団体の認可を受ける光栄に浴しました。従って、この契約の取扱い、掛金の取次ぎ、及び将来の共済金ご請求の代行等々も行っております。

先ず組合員会社の役員さんがお申し込み下さることは勿論、お知り合い、ご友人（但し大企業の役員は無理）にも何卒ご宣伝をお願いします。

更に詳しいことは、ご遠慮なく当組合事務局へご照会願います。

所得別の減税額一覧表（昭和52年分）

所得額	30,000円の場合				
	加入前の税額(A)		加入後の税額(B)		減税額 (A−B)
	所得税	住民税	所得税	住民税	
300万円	円 250,700	円 185,750	円 195,700	円 146,150	94,600
400万円	423,500	304,000	358,200	260,800	108,500
500万円	634,000	427,250	557,900	380,800	122,550



誰でもできる強健メモ（1）

彼岸も過ぎると、やがて本格的な秋のおとづれ、十月は全国衛生の週間もあります。

そこで中金発行の冊子から強健法を、本号より一口メモとしてご紹介しましょう。その一は老化防止です。

老化ということは、普通一般には、精力が衰え、頭がぼけてきたことを言う。これには腎臓の強化が第一です。

また顔や手の甲にしみができたのを見て老化現象があらわれてきたなどともいう。これには前に述べた肝臓の強化が大切である。顔にしわができたとか、皮膚にみずみずしさ、つややかさがなくなって、かさかさしてきたのを老化したとみる人もいます。

そしてこれらは、別々に現れることなく、四十才を過ぎた頃から目が遠くなりはじめ、目じりに、しわが出はじめ、歯が抜け、精力が減退し、肩や腰が痛みはじめ、糖尿病や、血圧異常と、老化がすすんでゆくのである。

機械でも古くなって油が切れてくると、スムーズに動かなくなる。機械がスムーズに動くのは、潤滑油のせいであるから、よく注意して油が切れてきたら補充してやらなければならない。

人体の潤滑油は、ホルモンです。ホルモンの分泌がおう盛であれば老化は最少限にくいとめられるはずである。これを分泌しているところは、松果垂、脳下垂体、胸腺、副腎といろいろあるのですが、その働きの中心はのど頸にある左右二つの甲状腺と、そのうしろにある副甲状腺です。

若返り法の元祖であるアーノルド、ベンネットは、主にのどの（自分の手のひらによる）摩擦と首の体操によって五十才で廃人同様の病身だった自分の肉体を七十代で、外観も医者の診断によって三十才の体に改造しました。このやり方を簡単に申すと、手のひらで、のどを下から上に、上から下に何回もなで、マサッを毎日行うこと、首の体操を心掛けることだそうです。これだけで、年をとらず、若返るというのですから決して難しいことではありません。費用がかかるわけでもないのです。僅かな時間で充分です。サア皆さん、今日から、ベンネット健康法を始めましょう。

中小企業組合の歴史

戦時中幾多の変遷を経て24年に新協同組合が発足

日華事変のぼっ発とともに、わが国は準戦時体制からいよいよ戦時体制へと急な衣替えを行ったわけですが、前述の工業、商業組合は統制機関的色彩を強める。本来この両組合は過当競争の自主的防止がねらいであったのだが、戦争遂行目的が手段化され、いわゆる協同組合的な面はにわかにウスレてまいりました。すなわち法律の改正により、出資を必要としないかわりに半ば加入の強制と官庁の監督が強い統制事業のみの制度が登場したわけで、むしろ公法人化されて行ったのであります。

このように両組合が配給統制機関に指定されると、商工業者は加入しなければ事業が存続できなくなるわけですが、昭和十四年の法改正によって協同組合的機能が別に設けられたことは特記すべきことです。この名前は、工業小組合、商業小組合であって、この制度は主に工業関係に多く利用され、政府もまた零細工業者の企業合同方式として勧奨に力を入れたからです。なおここで忘れてならないのは、この時期における工業、商業貿易の組合活動を促進し、その金融を円滑にするため商工組合中央金庫が昭和十一年末に開業していることと、各組合毎の中央会が発足していることであります。

もちろんこの両者は、当初から今の姿と同一ではなかったようですが、とにかく四十年前にその母胎が誕生していることは興味のあることです。

商工組合（統制、施設）制度

以上概観してきました工業、商業組合はその後戦争の拡大とともに数次の法律改正が行われたもののなお不徹底な面を残し、一方、国家総動員法に基く重要産業団体令による組合も短所が見られたため、昭和十八年には根本的に制度の改正を行うこととなり、新しく商工組合法が制定されます。

これには統制組合と、施設組合の二種があり、主流の統制組合の特色は、

①国策の遂行に協力すること

②組合員の統制と指導

③官庁が強制設立をなし得る

④有資格者は当然加入で脱退の自由はない

⑤理事長選任には官庁の許可がいるかわりに、強大な権限が与えられる。等々でおよそ、今日では考えられない仕組みとなっていました。一方の施設組合は組合員の事業の改良発達を図る共同事業（仕入、保管、加工、販売、受注、金融）を行うことが趣旨であって僅かに商工業に関する協同組合的組織は、この組合によってその命脈を細々と保ったと申しても過言ではないでしょう。

またこの時期に市街地信用組合制度が生じています。それまでにも俗にこう呼ぶ組合が、存在はしていましたが、単行法として名実共に、確立したのは、昭和十八年です。

これについての詳説は省きますが、監督官庁が大蔵省の専管となり、組合長がその認可をうけることとなっております。なおご参考にこの信用組合は終戦とともに、いくたの困難を経験し、その再建整備が遅れたのですが、昭和二十四年の新協同組合の制度発足と同時に、信用協同組合に、また昭和二十六年には信用金庫に分れて今日に及んでいるわけです。

組合のあゆみ

52年6月〜9月

▼52年6月

27日＝盆資金転貸し（四社）前回の保全預かり金返済

▼7月

2日＝総務金融委員会（委員長他四名）

9日〜10日＝連合会第二回通常総会、理事長他六名出席

13日＝総務金融委員会（委員長他六名）

27日＝常務会（理事長他三名）

▼8月

2日＝工事資材委員会（委員長他五名）

4日＝組合設立記念日（三周年）

5日＝第十九回理事会（理事長他八名）主な協議

①本年度収支予算の実行見直し

②協力会員制の新設

③準組合員制の新設

④金融事業の拡充基本策

⑤購買事業担保の特例扱い

⑥合同旅行の実施、その他

9日＝教育厚生委員会（委員長他四名）名古屋ダクト工業協組魚住事務局長ご来訪

25日＝理事長、事務局長商工中金へ中元挨拶、同時に本年からの金融事業拡充決議を通告し支援の要請

31日＝信和温調KKより融資申し込み、中金での審査受け

▼9月

2日＝専務理事東京出張訪問先、建設省（二課）、全国中央会、中小企業庁、関東空調工業会

8日＝中小企業大阪大会（各役員および北川事務局員出席）

9日〜10日＝名古屋ダクト工業協組との第2回合同旅行（山代温泉）二十二名参加

12日＝連合会業種認定委員会（於当組合、坂東委員長他六名出席）

13日＝連合会第六回常務会（於当組合、坂東会長他七名出席）。

フード，ガラリー，ダクト，各種ステン工事一式
建築金物一式
大塚鈑金工作所
〒542 大阪市南区長堀橋筋2－29
TEL 06－211－4163

U-ラント（一液性ウレタンシーラント）
U－ラントはポリウレタン専業メーカーである日本ポリウレタン工業株式会社と米国デュポン社の技術を元にし、一液ウレタンシーリング材としては画期的な物性を有した商品です。
特徴：タックフリーが早い。
接着力が非常に優れている。
伸び率とモジュラスのバランスが非常に良い。
貯蔵安定性に優れている。
耐候性・耐熱・耐寒性が非常に優れている。
製造元：日本ポリウレタン工業株式会社
取扱店：池田化成商事
TEL06(371)3918・0041

原価確保の受注を

連合会常務会でも緊急議題

打ち続く不況に起因する値崩れ現象は一向に改善の兆しが見えないどころか、過当競争はさらに深刻の度を高めようとする昨今の危機的様相に対して、如何に対処するかが、いつでも何処でも寄るとさわると話題になっております。連合会長から、今春標記通牒の周知徹底方が当組合にも後記のように届けられておりますが、さらに過日の連合会常務会においても緊急議題となりましたので、重ねて組合員各位のお目にかけ、主旨の実行に打って一丸、歩調を揃えて危機を突破しようではありませんか。

前略。さて、過日の役員会において敢えて問題提起を申し上げ、ご検討願いました通り、工事激減に伴う価格の不安定、さらには過当な受注競争へと危機的な様相を呈しております現状に、如何に対処するかにつきまして、発足以来日は浅いのですが一致団結、全智全能を結集して、とにかく打開の途を開かねばならないとともどもに真剣に考えております。

さきの「連合会だより」ですでにお知らせいたしましたが、建設省通牒にて「原価に満たない金額での工事受注をしないように」という指導がありましたので、この徹底を期するため各ブロック団体毎に更めて協議を練り、当業界の自滅を食い止めて頂くよう切望いたしたいのであります。

前記通牒と申しますのは「下請代金支払いの適正化について」と題した概要、以下のようなもので、これは大小のすべての全建設業者の団体に一斉に発せられています。

甚だ重要なことと信じますので取り次ぎますから、どうぞご精読を願います。

記

(1)通常必要と認められる原価に満たない請負代金では契約をしないこと。

(2)下請契約における下請代金の支払条件は、発注者との契約如何にかかわりなく適正なものとすること。

(3)支払いを受けた元請負人は、その対象となった工事の下請負人には、一カ月以内に相応する下請代金を支払うこと。

(4)また、前払金をうけた元請負人は、着手に必要な費用は下請人にも前払いすること。

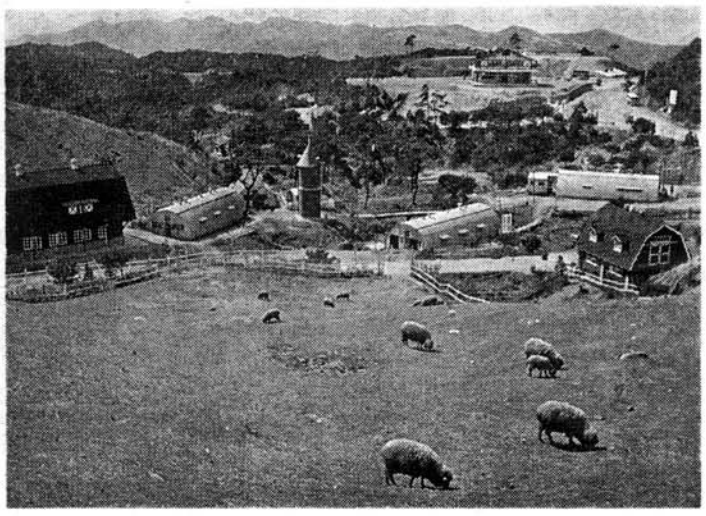
(5)下請代金は、できる限り現金払いとし、手形と併用するときも手形期間は出来る限り短かくすること。元請負人の都合で手形払いに変更または期間を延長する場合は割引き費用は負担すること。

(6)下請代金の手形払いの時は、金融機関の引受困難な手形を出さないこと。

(7)その他、下請負人が関係者に対し、不測の損害を与えぬよう元請負人は常に指導すること。　等であります。

貴団体におかれましては、具体的には幹部会を開いて充分懇談して頂き、主旨の徹底と今後の効果を検討して下さい。さらに、現在の経済成長率に合わせた企業体質の改善を行う方向に進ませ、多少地域差はあるでしょうが、前年比の70%程度の売上げを想定した徹底した合理化を進め、金利の節減、人件費の節約、技術の向上に心掛け、生き残る道を確保していかねばならないでありましょう。これからは会員相互の対話と懇親信頼と協調を深めていくことが根本となります。名前だけの無力な団体では無意味です。強力な団体であってこそ、存在意義があり、使命も果たし得るのです。

どうぞ、当面する緊急課題に各団体毎にもっと真剣に取り組んで下さり、百の議論より一つの実行です。次回の役員会には各位の創意と提案が活発に行われることを心から期待申し上げます。（後略）



すでに秋の色濃い六甲山牧場

動脈硬化の防止法

アナタにも簡単にできる

動脈が弾力を失って、こわばってしまう病気です。古くなったホースみたいなものであるから、裂けやすいわけです。つまり脳溢血とか心筋梗塞、また狭心症にもなりやすいのです。

老齢になっただけでも動脈は硬化しますが、（ホースに泥水を通していると、いつかホースの内壁に泥がへばりついて、バリバリになるように）にごった血液は血管の内壁にコレステロールというにごりカスをへばりつかせて血管をモロクします。

コレステロールがじゃまして通路を狭くするから、当然血圧は高くなる。ホースを強くおして、水の通路を狭くすると水圧が高くなって、勢いよく水が遠くまで飛ぶが、勢いがよすぎると、古いホースは水洩れが始ることは誰でも知っていることです。

動脈硬化に高血圧はつきものとはこのことです。

コンブは動脈硬化を防ぐ最良の食品で、夏ミカンもよろしい。植物性の油（ゴマ油など）もコレステロールを取ってくれます。

コレステロールは鳥獣肉や赤身の魚、イカ、タコ、貝類に多く含まれているが適度に食べていれば、人間の活力源で人体に益しても害のないものである。また多く食べても、植物性の油とともに食べれば害はウンとうすまります。

信頼のパートナー

商工中金は、日本の企業の99%を占める中小企業を、経営面と資金面からバックアップする銀行。いつでも、どこでも中小企業と共に考え、共に歩んでおります。

商工中金
THE SHOKO CHUKIN BANK

案山子の代用品

人間が食べるくらいの量では、動脈が硬化するほどのこともないという説もある。

動脈硬化症になったら、小麦胚芽を大量に（オートミルのようにして）カルシュウムと共に、毎日食べているとよいし、干したドグダミ草を煎じて茶代りに飲んでいると、脳溢血で倒れることもなく、また狭心症の予防になりますからぜひ実行をおすすめします。

また毎日朝晩、両足首を（つま先を伸して）外回し二十回、内回し二十回の運動をフトンの中で励行して下さると、卒中も予防できます。

彼岸までとは、よく言ったもの、朝夕メッキリ初秋の気配がただよい出したから不思議だ。まだまだ冷房のないあの満員電車での通勤から漸く解放されると思うだけでも心がなごむ。通勤といえば、昨年の駅付近での自転車の駐車?には、いささか閉口させられる。自動車の駐車取締りは、随分と厳しいのに、自転車は何故か、殆んど省みられないようだ。駅を降りると、見事に並んだ放列に足のふみ場もない時さえある。

広くもない道に、自動車用のスペースを先ずとって、残った僅かの幅を人間専用に指定するという考え方も近代的とはいえないのではなかろうか。その狭いスペースに自動車と共存しているのだから、人間様は自転車を傷つけぬよう、また自動車に傷つけられぬようビクビク、ヒヤヒヤしながら、コソコソ歩くより仕方がない。

もちろん自転車の通勤、通学族にも、それなりの言い分は充分ある筈だ。チャンとした置場を確保してくれれば誰か不法駐車などするものか―である。しかし全部が自転車に頼っていないことも事実で、電車ほどきちんと来ないバスを辛抱して利用する人。また、健康のためだと言い聞かせて汗をふきふき歩いている人も案外多いのである。

自転車の山積みの中に立てられた「ここに放置した自転車は、無主物として近く撤去します」の警察の看板もシャクの種である。

果して本気で、取り組んでいるのか、歩行者の手前言訳にたてたかかしの代用品か、首をかしげたくなる。

言い古されたことだが、正論は、繰り返すべきだろう。かつて「小さな親切運動」というのがあった。これも大切なことだが、今必要なことは「小さな迷惑をかけない運動」であろう。一人一人が、このことに気をつけることで世の中は、どんなに住みよくなるだろうか。心したいものである。

（×生）

いまは公園の緑地に「砲兵工廠跡」の石碑

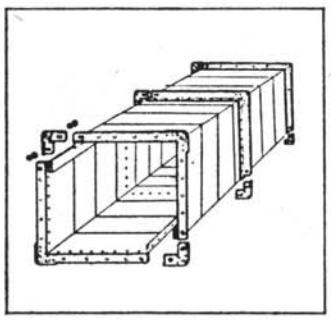
かつては城東線と呼ばれた国鉄環状線が京橋を過ぎて森の宮に至るまでの間、車窓の西側にひろびろと緑の公園がひろがる。〝大阪城公園〟である。

ここは、昭和二十年の大阪大空襲で破壊消失した大阪砲兵工廠の跡地である。戦後の長い期間、ここは不発弾が危いということで無残な光景をさらしていた。いま、生れ変った緑地公園の中に「砲兵工廠跡」の石碑が往時の大阪の金属工業隆盛の跡をしのばせている。

大阪砲兵工廠は、明治三年、徳川幕府の創設した長崎製鉄所から機械や技術者を移して、この地に「造兵司」の名称で設置された。造幣局、堺紡績とともに明治新政府によって設立された官営工場の一つであった。その後、大阪造兵司、大砲製造所、砲兵第二方面内砲兵支廠などと、何度も呼び名が変ってきた。

大阪の金属業発祥として、住友などの大会社から中小工業にまで技術的に及ぼした影響はまことに大きい。反面、大軍需工場としての戦犯責任もまた大きく、大気汚染や水質汚濁による公害の原点でもあった。その功罪を超えて、緑地公園の中の〝石碑〟は、大阪の歴史の一端を私たちに伝えてくれる。

亜鉛メッキアングル製フランジを取付けた
ファブリダクト-FL　略称 N.F.D-FL



ファブリダクト・シリーズにフランジを取付けた『ニッパンファブリダクト-FL』はダクト組立工程の短縮・省力化を大巾に推進した画期的な製品です

発売元
日本鐵板株式會社
大阪支店　大阪市東区大川町1（日土地淀屋橋ビル）
TEL　大阪（06）203－5691（大代）　〒541

TRADE 光 MARK

営業種目
鈑金機械　切削工具　大工道具
鈑金工具　自動車工具　左官道具
機械工具　ラジオ工具　各種梯子
●其の他何んでも揃う総合商社

日立電動工具特約店
マキタ　〃　〃
かね光印製品製造発売元
光 和田商店
〒556 大阪市浪速区日本橋筋4丁目32
TEL. 06(641)8.230

委員会だより

金融事業を拡大

総務金融委員会

当組合の定款や金融事業規約を眺めますと、当初から各種の融資事業を行う建前であったことは明らかであります。

これを裏書きするように本紙創刊号の委員会だよりなどには、使命感に満ちた意欲を汲み取ることが出来ました。

しかし諸般の事情と経緯から、幸か不幸か当組合は僅かに盆暮の季節資金のみを取りあげただけで、他の一切の融資事業は停止して三年目を迎えたわけです。

しかし昨年の暮あたりからであったと記憶するのですが、もう、お互いの気心も解りかけて来たし、いつまでも停止という変則状態（定款の事業項目にある限り）を長く続けるのは如何であろう。そもそも組合を結成し、加入された方の中には、この事業にも関心と期待を持っておられる方も少くはないだろうから、そろそろ拡充をしてはとの声が上がり始めて、当時の（経済）委員会は未経験ながら、急にその勉強に忙しくなってまいりました。

本年の当委員会も当然のことながらそれを受け継いで、漸く五月にまとめて理事会に大綱を提案し、やっとの思いで承認を取り付け理事会は更にその後の通常総会に諮って下さって、ここにさしもの懸案が一歩大きく前進を見たことは各位ご記憶の通りであります。もちろん骨組みが決まったのみで、具体的な細部の取扱いなどについては準備中ですからお知らせはできないのですが、取敢えずその骨子だけを、以下ご一覧に供します。

(1)本年度は、組合事業（主として購買および転貸の資金）のための借入金は三億円以内とする。

(2)転貸しは本年度から短期資金の手形貸付および商業手形の割引を新規に始める。

(3)但し、本年度は一組合員に対する転貸しは三千万円以内とする。

(4)手形貸付はすべて有担とするが、手形割引については三百万円まで無担保とする。

(5)借入申込者の審査は原則として商工中金に委託し公正且つ精確を期すると共に、保全には万全を確保する。

(6)上記の事業拡充に伴う具体的細部の事務仕組みは、事業規約に拠ることとなるが、定めのない事項については商工中金との合同協議により取決める。

なお旧金融事業規約中実情にそわぬ不合理な点は、さきの総会に於て改訂されましたからご留意下さい。

また委員会では目下精力的にその準備作業を続けておりますが、特にお急ぎの方はご遠慮なく一応事務局にご相談いただけば結構です。ご不審の点はどうぞご照会を願います。

年末資金（賞与払い等）の貸出しについても、先ず委員会で原案を検討中です。理事会で決定次第、詳しく発表される筈ですから暫くお待ち願います。

こうしてやっと現行定款上の二大経済事業が出揃った形となったわけで、この上は精力的に準備の体制を整え、できれば下半期から一斉に、とにかく開店に漕ぎつけ度いものと、委員一同は不馴れな（?）金融財務の問題に首っ引きの態であります。はたして各位の前にご提示できたものが満足願えるかどうか、いささか不安も覚えるのですが、とにかく不幸な経験を持つ組合であり、こと金融には先ず実績の信用が要求されるわけで、これは決して一足飛びの飛躍は望めぬことも、ご諒承願えると存じます。

現在八億近い素晴しい貸出し実績を持つ名古屋さんでも、それは十余年コツコツと積み上げた結果であって、当初は我々とチョボチョボであったことを過日の懇談会で聞かされ、成る程と自らを慰める一幕もありました。

慎重な議論も大切ではありますが、とにかくスタートして改善を重ねながら、一歩一歩頂上を目指そうではありませんか。

ご理解あるご協力を祈り上げます。

そこで前々からこの辺の改善、善処をという声がどこからともなく高まってまいりましたので、今春来、当委員会ではいろいろ研究いたしまして、今般新しく別に「協力会員制」なるものを提案し、過日理事会の承認をとりつけました。既報の通り各位に目下その推薦方を依頼中であります。

どうぞご面倒でも、お出入りの販売各社に趣旨をご説明の上、本意を正しくご納得いただいたのち事務局まで通報をお願い致します。

（委員長　杉本博昭）

協力会員制を実施

当組合には、組合員会社に亜鉛鉄板、鋼材等のいわゆる主資材を供給販売される方々との直接の連帯制（世間では例えば賛助会員と呼ばれているが）がないため、ややもすれば疎遠がちで何かと失礼や不便を感じてまいりましたことはご承知の通りです。

幸い副資材の販売各位とは、その大半が登録業者という名の関連づけが早くからとられて、相互扶助の深い間柄が形成されてまいりましたが、この面では近時、まま実行の伴わぬ、いわばうわべばかりの関係も残念ながら見受けられるようになってまいりました。

（森本重二郎氏撮す）

ご参考までに事業の種類、年度別に比較すると次表のようになります

種別 ＼ 年度		51年度まで		52年度から	
手形貸付	イ）盆暮資金（多数同時転貸）	○	実施済み	○	従前通り
	ロ）その他の短期事業資金（1社随時転貸）	×	実施しない（直貸し利用の斡旋）	○	新規に実施する
手形割引	ハ）優良（上場会社）手形	×	同上（〃）	○	新規に実施する
	ニ）その他の手形	×			
証書貸付	長期事業資金（1社随時転貸）	×	同上（〃）	×	実施しない（直貸しは斡旋）

情報ダイジェスト

資材動意に3ケ月

日銀の追跡調査によると公共事業を発注してから資材手当てまでには3ケ月を要することが明らかになった。この結果、六月からの急ピッチによる前倒し執行で実際に鋼材、木材、セメントなどの商品市況が上向くのはいよいよ十月から本格化すると予想されている。

保証協会はピンチ

倒産が続発し代位弁済がふえる一方の各地の信用保証協会の経営内容は悪化の一途。一部には赤字転落の懸念がでてきた。

よい企業がより発展を

中央建設業審議会の中間答申が今夏出されたことは既報の通りですが、それには建設業の振興を図るためには「適正な競争を通じてよりよい仕事をする企業が、よりよく発展を保証されることが必要だ」と指摘そのために、①全工程を通じた建設生産の仕組の合理化、②個々の企業の体質改善の助長が欠かせないとしている。また建設業が①管理監督機能、②直接施工機能の二つの機能を単一にあるいは、併有していることに着目、これを手掛りに問題を整理したり、解明したりして見直しをすべきだとしている。

次いで振興策の二本柱である①建設生産の仕組の合理化、②企業体質の改善、についての基本的な考え方を示しているが、特に①については「その能力に適応した仕事を適正な対価で分担」できるようにするため、企業評価の適正化とその活用を図ることを強調している。②については各企業が自らの経営目標を明確にして、企業体質改善の努力をするべきだとするとともに、そのような自助努力を促進する助成策を述べている。

また専門工事業など直接施工機能を有する業態では良質な労働力を確保することが最も大切として「基幹労働力の直用化」を進めていることが注目される。

六・九パーセント上昇

三省は今年六月に実施した公共事業労務費調査に基き、下期から適用の労務基準単価を関係発注機関宛一斉に通達した。勿論この内容は公表されないが、前記調査によると、主要一〇職種の全国平均労務費は、一日八時間労働で六、三五八円となり、これは昨秋に比べ六・九%の上昇を示したこのうち最高職種である大工は最高一〇、四八九円、最低六、八六六円、平均八、四〇一円である。

ダクト工事の安全を保障する……組立保険
従業員の災害補償に……労災上乗せ保険

主な営業種目

火災・積立総合・住宅総合・店舗総合
団地・長期火災・休業補償・運送
自動車・自賠責・傷害・旅行
建設工事・機械・賠償責任・盗難

関西ダクト工業協同組合指定店……いしづえ保険事務所
担当—川井敦夫　TEL365—1592

＊安心を設計する……
同和火災海上
担当……大阪支店営業2部1課
TEL 203—5381

空調吹出口．スパイラルダクト．防煙ダンパ．排煙口
ダクト機械．機材総合商社
双和産業株式会社
本社　大阪市東淀川区下新庄町2丁目248の9
電話　大阪(06)328－7286(代)　8234(代)
営業所　大阪・福岡・宮崎・富山・大分